

平成27年度 学校教育目標

『兵庫が育む、こころ豊かで自立した人づくり』を基本理念とし、明るく充実した学校生活を送る中で、調和の取れた人間性を培い、命と人権を大切にすること豊かな人間を育成する。

重点目標

- 1 基礎的・基本的事項の定着を図るとともに、生徒一人ひとりの能力・適性などに応じた学習指導を工夫することにより、主体的・創造的に生きる力を育む。
- 2 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員として自らを律しつつ他人と協調し、他人を思いやる心や豊かな人間性を育む。
- 3 自他の生命の尊重を理念に、生徒・教職員自らの健康管理ならびに安全管理に留意し、生涯を健康で安全に生き抜く習慣・態度・能力を培う。
- 4 生徒一人ひとりが自己をみつめ、自己を生かし、自己の進路を主体的に決定する能力を育て、自己実現に向けてチャレンジする心を育む。
- 5 地域や生徒の実態を踏まえ、組織的・計画的に研修をすすめるなかで教育の専門家としての自覚を高め、資質能力の向上に努める。

自己評価結果		
学習・進路指導	週末課題や夏季・冬季休業期間中の学習会とともに、成績不振者への補充、課題の提出、個別指導など、きめの細かい指導を行うことができた。また、選択科目等の開講講座の内容について見直しを行った。	A
	模試等の結果を年次担当者と共に、日々の進路指導に生かすとともに、生徒の進路実現に向けた補習等が実施できた。模試などの資料が面談などの進路指導に役立つよう、適宜進路検討会を持った。また、3年次向けに進路通信を発行し、大学進学に関する最新の情報提供を行うことができた。	A
	近隣の国立大学など様々な分野の大学教授による学問講演会を実施し、主体的な進路選択と望ましい職業観を育むことができた。また、1年次の総合的な学習の時間において、生徒一人ひとりの進路実現に向けたガイダンス指導を行った。	A
生徒指導	拡大指導部会等で指導内容の確認や統一性を図るとともに、全校集会・年次集会等で伝達、確認することで、挨拶の励行、端正な服装等基本的な生活習慣の定着ができていた。また、いじめアンケートについては、学期毎に、生徒が書きやすいよう実施方法を変更して行ってきた。	A
	生徒会執行部が中心となり、生徒が自主性をもって行事等の企画・運営できた。また、文化祭や体育大会等に生徒自身のアイデアを取り入れた新たな取り組みを行うことができた。	A
	通常清掃や大掃除への真摯な取り組みにより、校内の整理整頓が維持できているとともに、生徒一人ひとりの美化意識の高揚が図られた。	A
開かれた学校づくり	授業公開やホームページのリアルタイムの更新をはじめ、年次通信、保健だより、中学校・塾等での説明会等を通じて、本校教育活動の情報を提供し、充実した広報活動を行うことができた。	A
	地域での演奏会、近隣の障害者施設への訪問・手伝い、特別支援学校の行事への参加を通して、地域との交流を深め、思いやりの心が育まれた。また、ユニセフ、東日本大震災等の募金活動や地域の美化活動に協力した。	A
	ラインネットを有効に活用し、緊急時や重要事項の伝達が効果的に実施できた。	B
	保護者会、面談、電話等によるきめ細かな連絡を通して、家庭と連携を図りながら教育活動に取り組むことができた。また、各年次とも年次通信を定期的に発行し、家庭との連携を図ることができた。	A
資質向上	授業公開やアンケート等を通して、授業研究と指導方法等の工夫を進めるとともに、研究会等に参加し専門性と指導力の向上が図れた。また、近隣の友が丘中学校と連携した授業公開を行うことができた。	A
	今年度、教員に必要なテーマで、年間7回の教員研修会を企画・実施し、指導方法や問題点について情報を共有することができた。	A
	年次との連携を密に、気になる生徒については面談を適宜行うとともに、カウンセラーによる面談も実施した。学校での生徒の様子と家庭での様子について、保護者と情報を共有し生徒把握に努めた。また、カウンセリングマインドに係る研修会を行い、教職員の指導力向上が図れた。	A
課題教育	ユネスコスクールの台湾国立中山大学附属国光高級中学校の生徒が来校し、授業に参加したり生徒との交流を行った。本校卒業生のアナウンサーによる国際理解教育講演会を通して、コミュニケーション能力の育成と外国の文化への理解を深めることができた。	B

自己評価の結果および改善についての関係者評価	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒一人一人の希望により添い、細かい指導が可能となる単位制の特徴を十分に活かした指導がなされている。</li> <li>○ 少人数の講座が増加すると、教師の負担も増加すると思いますが、可能な範囲で対応していくことが望ましいと思う。</li> <li>○ 週末課題が多いことは、塾へ通っていない生徒にとっては有り難いことである。</li> <li>○ 1、2年次は、年間夏季休業中にしか三者面談がないので、保護者としては、少し不安である。</li> <li>○ 担任、教科担当の先生から入試に関する適切なアドバイスや情報を提供していただいている。</li> </ul>	(A~D) <b>B</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒会を中心とした新しい取組が素晴らしいと感じた。</li> <li>○ 選挙権が18歳以上に引き下げられ、高校生にもより社会人としての意識付けが必要である。今後とも自主自立を育てて欲しい。</li> <li>○ 学校を訪問したときに、挨拶をしてくれる生徒に限られているように感じます</li> <li>○ 生徒の服装・態度は高校生らしく好感もてる。</li> <li>○ 学校行事において、生徒会執行部の生徒が中心になって企画・運営している様子は好感が持て、気持ちよかったです。</li> </ul>	(A~D) <b>A</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 積極的な地域行事への参加が良いと感じた。高校生の社会貢献は、今後の社会形成においても重要だと感じます。これからも地域のクリーン作戦を継続的に続けていって欲しい。</li> <li>○ 現在実施している通学路清掃を年間回数でも地域の人と一緒に、地域とのコミュニケーションを更に深めて欲しい。</li> <li>○ 地域の障害者施設やふるさと祭りへの参加をボランティア委員に限らず、幅広く生徒にボランティア活動を推進していけたらよいと思います。</li> <li>○ 授業公開があるが、真剣に授業を受けている中参観するのは少し遠慮してしまいます。</li> </ul>	(A~D) <b>A</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管理職のリーダーシップにより、教員の資質向上に積極的に取り組まれている様子が分かる。</li> <li>○ 地域の方の評判が良い。生徒、教員ともに目標に向かって努力しているからであると思う。</li> <li>○ 各授業において、生徒からの質問や要望を聞く機会を定期的に設けて欲しい。また、分からないところを質問しやすい環境作りが必要である。</li> </ul>	(A~D) <b>A</b>

<p>学校評価の実施方法について（自己評価が適切に実施されているかどうか）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒や保護者のアンケートを実施し、教職員のアンケートを取り入れた評価は良いと思う。さらに、近隣の中学校の生徒や保護者、教員のアンケートを実施して取り入れることができると思います。</li> <li>○ 生徒へのアンケートは、個々に対する物で、生徒が学校全体を見てどう思っているのかという視点でのアンケートが実施できればと思う。</li> <li>○ 適切に実施できている。更に、生徒による授業アンケートや学校行事に関する評価アンケートを実施すれば、改善につなげることができると思う。</li> <li>○ 生徒アンケートは、生徒の取組しが聞いている。それに対する教員の指導をどのようにとらえているのかがわかるアンケートにすれば、評価が下がるはずである。来年度は、アンケート項目を検討する必要がある。</li> </ul>	(A~D) <b>A</b>
---	-------------------

<p>総合的な学校関係者評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各項目とも良好で、教職員の方の努力が感じられる。</li> <li>○ 生徒、教員、保護者、地域が一体となって、良い伝統が育まれていると感じました。</li> <li>○ 保護者からのアンケート内容も参考に、生徒が、少しでも思いに添える学校生活が過ごせるようにお願いします。</li> <li>○ 学校の方針をしっかりと保護者に理解してもらうことが大切である。高い評価に甘えてはいけません。</li> </ul>	(A~D) <b>A</b>
--	-------------------